

平成 26年 10月 23日 コウノトリ、修学旅行中

コウノトリの幼鳥は、生まれた年の秋には親元を離れて自活を始めますが、それぞれたった一羽で暮らして行くわけではありません。どうやら繁殖年齢に達しない若者のゆるいコミュニティがあるようで、集団になって日本各地へ飛んでいくことも珍しくありません。

この若者の集団を、**修学旅行**とか、**ツーリング**とか、はたまた**暴走族**とか…面白おかしく言われていますが、ついに**福井県あわら市**にも、コウノトリの若者の一団が**ブンブン、ブンブン、パラリラパラリラ**と言いつながらかは分かりませんが、飛んできました。しかも**7羽**です！兵庫県が2005年に放鳥を始めてから、若狭町で6羽が確認されたことがありましたが、今回は最多です。

福井県あわら市で7羽が確認されました



兵庫県立コウノトリの郷公園 HP より画像失敬しました

この中で、J0053は、むかしむかし、武生市（当時）で保護された嘴が折れたコウノトリ「武生」のひ孫で、越前市により「里ちゃん」という名前がつけられています。J0091はその2歳下（今年生まれ）の弟です。J0072は、ふっくんとさっちゃんのひ孫です。**福井県にご縁があるコウノトリが3羽も来てくれましたよ。**ふっくん、さっちゃん達のことはスルーでしたけど…